山形県西川町　デジタル田園都市国家構想交付金　実施状況及び効果検証

（単位：円）

【事業名：隠れ豪雪日本一のまち・安心リモートパトロール事業】

所管課	タイプ名	事業期間	事業（実施計画書）		実施主体	重要業績評価指標(KPI)				交付対象事業費	交付金充当額	事業開始年月	事業完了年月	効果検証結果 （KPI達成状況に応じた今後の対応等）
			概要	実施内容		項目	単位	目標値	実績値					
建設水道課	デジタル実装 （TYPE1）	令和5年度	①住民生活に必要・不可欠な除雪作業において、道路管理サービスを導入することで、除雪管理者の作業軽減と除雪の効率化が図られる。 ②高齢が広く、道路・空き家管理に多大な労力を費やしているわが町にとって、リモートパトロールの導入により、少数・短時間でのパトロールが可能となり、道路状況がリアルタイムで可視化されることで、出張時や危険空き家の把握も含め迅速な対応が可能となる。	道路管理サービス及び(リモートパトロール)システムを導入し、除雪管理業務の効率化、道路パトロールの省力化及び道路状況の可視化を推進することで、住民生活の安全確保と行政サービスの向上を図る事業。	西川町	①除雪管理システムの利用累計時間	時間	6,000.00	2,777.00	3,202,000	1,601,000	令和5年4月	令和6年3月	除雪事業者からの聞き取りや運用状況の確認に加え、除雪管理システムに蓄積された稼働実績データを活用し、除雪体制や運用方法に関する検証を行った。 令和5年度は例年と比較して降雪量が少なく、小雪傾向で推移したことから、除雪車両の出動回数や稼働時間が伸び悩み、一部のKPIについては目標値を達成することができなかった。しかしながら、システムの運用を通じて、除雪業務の稼働状況や作業現場をデータ化して業務・可視化できる環境が整い、従来の経験や現場感覚に加え、客観的なデータに基づく運用状況の確認及び事業評価が可能となった。 また、除雪事業者との意見交換を通じて、システム操作や運用方法に関する課題、現場対応における改善点等について情報共有を行い、今後の運用改善に向けた方向性を整理することができた。 今後は、複数年にわたり蓄積される稼働データや現場からの意見を継続的に分析し、関係部署及び除雪事業者と連携を図りながら、除雪業務の効率化及びより実態に即した事業評価につなげていく。
						②ecomonita（道路可視化）サービスのクラウドアクセス	件	1,200.00	720.00					
						③除雪車1台当たりの稼働時間割合	%	100.00	100.00					
						④除雪の対応までの時間削減	分/回	60.00	60.00					